

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	実践課題制作	
科目基礎情報							
開設学科	プロダクトデザイン科		コース名			開設期	前期
対象年次	3年次		科目区分	必修		時間数	180時間
単位数	6単位		授業形態	実習			
教科書/教材	レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	下總良則、山口恵美子			実務経験の有無・職種	有・プロダクトデザイナー		
学習目的							
後期授業に控える卒業制作を見据え、自分自身で世の中から問題を発見し、それをデザインの力を使って解決するアプローチを学ぶ。この観点では、トライアンドエラーを繰り返し、PDCAサイクルを自分自身で回す必要性があるため、ラビッドプロトタイピングを使ってアウトプットのクオリティを高めていく方法を学ぶ。また、これを実現するために、自分自身でリサーチ方法を設計し、実施することが求められるが、このプロセスも体験する。							
到達目標							
卒業制作において、自分自身でPDCAサイクルを回し、制作物のクオリティを高める方法を身につけることを到達目標とする。							
教育方法等							
授業概要	初回授業において、なぜ自分が今、ここでデザインを学んでいるのかを内省する時間を設け、卒業までのマイルストーンを意識する。その後、ラビッドプロトタイピングのノウハウを学ぶワークショップを体験し、当授業の本題へと進む。チームを組み、最終回までの13回を使って一つのテーマに取り組むが、各ポイントで中間プレゼンテーションを実施。そこで得られる声からフィードバックを得て制作物のクオリティアップへと反映し、最終プレゼンテーションに臨む。						
注意点	制作はチームを組んで進めていくため、遅刻、欠席すると他のチームメンバーに負荷・迷惑がかかる。授業時は遅刻、欠席をしないこと。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーション実施ならびに評価を受けることができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題技術	40%	課題の表現技術を総合的に評価する				
	課題内容	40%	課題のコンセプト・アイデア・デザインを総合的に評価する				
	プレゼンテーション	10%	課題の発表技術、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	ドリームツリー		各自、自分の生い立ちから現在を捉え、将来を展望する設計図を描く				
2回	ラビッドプロトタイピング		アイデアの精度を高める方法である、ラビッドプロトタイピングを、ワークショップを通して学ぶ				
3回	夕食をデザインする1		チームによるプレストにて、初期アイデアを考える				
4回	夕食をデザインする1		ラビッドプロトタイピングの手法を使い、アイデアを具現化する				
5回	夕食をデザインする1		具現化したアイデアをプレゼンテーションの形にまとめる				
6回	中間プレゼンテーション		アイデア段階で、早期フィードバックを得、それを元に改良アイデアを考える				
7回	夕食をデザインする2		ラビッドプロトタイピングの手法を使い、アイデアを具現化する				
8回	夕食をデザインする2		ラビッドプロトタイピングの手法を使い、アイデアを具現化する				
9回	夕食をデザインする2		具現化したアイデアをプレゼンテーションの形にまとめる				
10回	中間プレゼンテーション		アイデア段階で、早期フィードバックを得、それを元に改良アイデアを考える				
11回	夕食をデザインする3		ここに至る改良アイデアを、最終の成果物として制作する				
12回	夕食をデザインする3		ここに至る改良アイデアを、最終の成果物として制作する				
13回	夕食をデザインする3		ここに至る改良アイデアを、最終の成果物として制作する				
14回	夕食をデザインする3		具現化したアイデアをプレゼンテーションの形にまとめる				
15回	最終プレゼンテーション		最終プレゼンテーション				